

東部地域住民自治協議会

環境保全部会だより 第22号

2020年3月31発行

東部地域住民自治協議会

環境保全部会

伊賀市緑ヶ丘東町920

上野東部地区市民センター内

TEL・FAX 24-3999

環境学習会

～木曽三川公園・水と生きる～



神々しいほどの朝陽がふりそそぐ11月8日(金)午前8時、参加者35名を乗せたバスは、一路、高須城を模した岐阜県海津市歴史民俗資料館に向け出発しました。

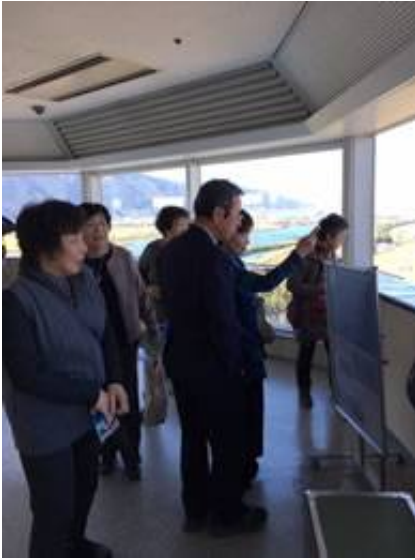
指導員の服部さんから海拔0m地帯で水害を防ぐ為、周囲を堤防で囲んだ集落「輪中」について詳しく説明して頂き、そこで生活する人々の知恵と努力(水屋、上げ舟、堀田、堀つぶれ)の話をおえば何うほど頭が下がる思いで、皆さんも質問しながら熱心に見学していました。

歴史は鎌倉時代に始まり、その後もしばしば大洪水に見舞われ、特に長良川は「暴れ川」と呼ばれ、人々の生活をおびやかしました。江戸幕府は力のある薩摩藩に命じ多くの人々と財を投入させ、堤防をつくり洪水を防ごうとしました。その壮絶な工事は筆舌に尽くしがたいものがあつたそうです。明治に入り、オランダ技師ヨハネス・デレーケの指導による三川分流工事で「木曽川・長良川・揖斐川」が現在のようにきちっと分散されました。

「木曽三川公園展望タワー」地上65mから眺める木曽三川はおおらかに雄々と流れ、人々の苦難の歴史をも飲み込んでいるようでした。

今年は強烈な台風が襲来し、各地で多くの河川が氾濫し甚大な被害がでました。水没した家屋を見るにあたり胸が痛くなります。先人の知恵や努力があつての今日ですが「みんなで助け合って生き抜いていく」、これはいつの世も変わらないと思います。

中身の濃い学習会、そして楽しく過ごせたこと参加者の皆さん本当にありがとうございました。



「正しいマスクの付け方と捨て方」について

風邪やインフルエンザ、また花粉症とマスクがかかせません。さらに、今年は新型コロナウイルス感染症が発生し正しいマスクの「つけ方、捨て方」が求められます。

まず、ホコリ、花粉、ウイルスなど、目的別に素材・機能・形状・サイズを決めます。

素材は大きく分けて「ガーゼ」と「不織布」があり、形状はガーゼタイプが主流の平面的な「平型」、不織布タイプの主流である上下に開いて、口もと広々、呼吸も楽々の「プリーツ型」、顔のラインに沿った「立体型」があります。

<つけ方>

マスクと顔の隙間をつくらないことが重要で、使用中はマスクになるべく触らないこと。

不織布の使い捨てタイプは1日1枚が目安です。

<捨て方>

マスクの外気に当たる面は、ホコリやウイルス等で汚れています。マスクを使い終わったらヒモ部分を持って外し、マスク本体には触らないようにビニール袋に入れ、口を縛って密封してからゴミ箱に捨てます。(環境省) そして、捨てた後はよく手を洗うこともお忘れなく！！



環境講座

「魔法の水・マイエンザ」



真夏並みの暑さの9月7日（土）午後2時より東部地区市民センター3階において、環境講座「魔法の水・マイエンザ」を開催し、27名の方が参加しました。

講師に稲垣正昭さんをお迎えし、マイエンザについてビデオを交え詳しくお話していただきました。皆さんうんうんとうなずきながら熱心に聞き入っていました。

ではマイエンザはなぜ「魔法の水」なのか？

それは納豆（納豆菌）、ヨーグルト（乳酸菌）、パン酵母（酵母菌）砂糖とお湯と言う身近な食材で簡単に作れる安全、安心な微生物活性酵素だからです。この酵素の力で「ニオイ消し」、「汚れ落とし」、「鮮度保持」、

「水質浄化」など様々なことに効果が期待できるのです。

トイレ、台所、お風呂、洗濯、農作物などに効果があり、さらに女性にうれしいのは、しみ・しわにも効果があるとのこと。それが「魔法の水・マイエンザ」です。皆さんも是非お試しあれ！

稲垣さん、ご参加の皆さん有意義な時間を共有していただき、ありがとうございました。



「ゴーヤのグリーンカーテン」づくりに挑戦



環境保全部会では、昨年に続き部会員さんより苗の提供があり「ゴーヤのグリーンカーテン」づくりを実施しました。

6月2日前回の指定席の東部市民センター南側をばっちり確保して、さあ今年も...

ところが、最初は成長も早く花もたくさん咲いて“これは豊作まちがいなし”と心待ちにしていたましたが、今年は梅雨が長すぎて急に猛暑日となったため実るタイミングを逸したようです。

しかしながら、ゴーヤのカーテンは、なにくそ！！と一生懸命両手を広げ建物を暑さから守ってくれました。可愛いゴーヤもいくつか獲れて食の楽しみも

ありました。

やはり、自然とは人の力だけでは計り知れない厳しさを改めて感じた令和最初の夏でした。



みんなで楽しくグリーンウォーク

第1回・2回グリーンウォーク(矢谷川周辺) 4月7日(日) 6月2日(日)

第3回グリーンウォーク(緑ヶ丘周辺) 8月4日(日)

薄い雲が数日来の真夏のような日差しを包み込んでくれているような6月2日(日)午前8時、「くれは水辺公園、秋の広場」に環境保全部会員と地域のボランティア42名が集まり第2回グリーンウォークを実施しました。

ところが中州や土手は草木が身の丈まで生い茂り中が見えない状態での作業です。それでもたばこの吸い殻、アルミ缶、ビン、ペットボトルはもちろん水槽や消火剤まで多数回収しました。拾い集めたゴミを分別し作業は9時30分に終了しました。

お帰りには部会員さんのご好意でゴーヤ、オクラ、黒豆、大豆の苗を無料配布させて頂きました。ボランティアの皆さん早朝よりご協力ありがとうございました。



第4回グリーンウォーク(上野旧町部) 10月6日(日)

第5回グリーンウォーク(矢谷川周辺) 12月1日(日)、第6回の3月1日は中止

肌をすり抜ける風の冷たさが、長かった夏の暑さを吹き消しているような、10月6日(日)午前9時、愛染院北側の農人町交差点広場に環境保全部会員と地域のボランティア26名が参加し第4回グリーンウォークを実施しました。

① 寺町～伊予町、② 白鳳幼稚園～安楽院、③ 東御旅所～車坂、④ 三田清～北平野の4つのコースに分かれ清掃活動を開始。町の中はたばこの吸い殻が多く、ごたぶんにもれず空き缶、ペットボトル、空きびんも顔をそろえています。ひどいのは他所からの車から投げ捨てられたゴミが散乱している箇所もありました。地道なこの活動がいつか実を結ぶことを願っています。

ボランティアの皆さんご協力ありがとうございました。



さわやかな空気の中で健康づくりに、
地域の人々のふれあいを深めるために、
グリーンウォークに
多数のご参加をお待ちしています！！